

オビラメ勉強会「釣り人ができるイトウ保護」のご案内

尻別川の未来を考えるオビラメの会

会長：草島清作 事務局長：川村洋司

048-1511 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ315-198

TEL：090 8279 8605 E-mail：kawamura3795@castle.ocn.ne.jp（川村）

<http://obirame.sakura.ne.jp/index.html>

報道機関各位

いつも当会の活動にご理解ご支援をいただき、まことにありがとうございます。

きたる10月28日、下記要領でオビラメ勉強会「釣り人ができるイトウ保護」を開催します。ぜひ多くの方のみなさまにご関心をお寄せいただきたく、事前の告知報道と当日の取材をお願いいたします。

絶滅危惧種イトウ尻別川個体群の復元に向けて、どうぞ今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

釣り人ができるイトウ保護

尻別川イトウ個体群の復元を目指すNGO「オビラメの会」は、20年以上にわたる尻別イトウ再導入（補充）の試みによって、近年ようやく自然繁殖地の再生にこぎつけました。「オビラメ復活30年計画」（2001－2030）の最終ステージでは、絶滅の危機を二度と招かないよう、いまだ数少ない自然繁殖エリアの厳重な保護とともに、尻別川流域で「サスティナブル（持続可能）な釣り文化」の醸成を目指します。北海道内の釣りに精通する坂田潤一・季刊「釣道楽」発行編集人をゲストに迎え、「尻別川でいつまでもイトウ釣りを楽しむための提案」づくりを試みます。

日時 2017年10月28日（土曜）午後2時～4時

会場 倶知安風土館 電話0136-22-6631 倶知安町北6条東7丁目

話題提供 坂田潤一さん（季刊「釣道楽」発行編集人）

入場料 無料 どなたでもご自由にご参加ください。申し込み不要です。

主催 尻別川の未来を考えるオビラメの会 お問い合わせ 090-8279-8605（川村）

後援 倶知安町、倶知安町教育委員会

協力 後志地域生物多様性協議会

当会は北海道e-水プロジェクト、北海道新聞野生生物基金、「1% for The Planet」運動に賛同する株式会社アトリエ・モリヒコ（札幌）、またニセコ町の支援を受けています。当会の「絶滅危惧種イトウ（サケ科）北海道尻別川個体群の復元活動」は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟による『プロジェクト未来遺産2015』に登録されています。